

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 9 月 12 日 (2013.9.12)

【公表番号】特表 2012-527221 (P2012-527221A)

【公表日】平成 24 年 11 月 8 日 (2012.11.8)

【年通号数】公開・登録公報 2012-046

【出願番号】特願 2012-511187 (P2012-511187)

【国際特許分類】

A 2 4 D 3/04 (2006.01)

【F I】

A 2 4 D 3/04

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 7 月 31 日 (2013.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

喫煙可能材料のロッド (12) と、  
 前記喫煙可能材料のロッド (12) に取り付けられた流量制限要素 (26、26') を含むフィルタ (14) であって、該流量制限要素 (26、26') が、  
 第 1 の上流側一体型管状部分 (30、30')、  
 前記第 1 の管状部分 (30、30') と実質的に同じ外径の第 2 の下流側一体型管状部分 (32、32')、  
 前記第 1 及び第 2 の管状部分 (30、30'、32、32') の間に位置し、該第 1 及び第 2 の管状部分 (30、30'、32、32') と比較して外径が小さい第 3 の中央一体型管状部分 (34、34')、及び  
 前記第 1 の管状部分 (30、30') の内側周囲によって少なくとも部分的に形成された第 1 の上流側空洞 (40、40') と、前記第 2 の管状部分 (32、32') の内側周囲によって少なくとも部分的に形成された第 2 の下流側空洞 (42、42') との間に配置され、少なくとも 1 つのオリフィス (38、38') が設けられた横方向障壁 (36、36')、  
 を含む、  
 前記フィルタ (14) と、  
 前記フィルタ (14) に沿った位置で前記第 2 の空洞 (42、42') と連通する通気区間と、  
 を含むことを特徴とする喫煙物品 (10)。

【請求項 2】

前記横方向障壁 (36、36') には、0.4 mm と 0.8 mm の間の直径を有する単一の実質的に中央のオリフィス (38、38') が設けられることを特徴とする請求項 1 に記載の喫煙物品 (10)。

【請求項 3】

前記フィルタ (14) は、先端紙 (16) の帯によって前記喫煙可能材料のロッド (12) に取り付けられ、前記通気区間は、前記流量制限要素 (26、26') の前記第 3 の管状部分 (34、34') の上に重なる先端紙 (16) の一部分を通して設けられた少なくとも 1 つの周方向列の穿孔 (44) を含むことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記

載の喫煙物品（１０）。

【請求項４】

前記流量制限要素（２６）の前記第１の空洞（４０）は、前記第１及び第３の管状部分（３０、３４）の内側周囲によって少なくとも部分的に形成されることを特徴とする請求項３に記載の喫煙物品（１０）。

【請求項５】

１つ又はそれよりも多くの開口部（４６）が、前記第２の空洞（４２）と前記少なくとも１つの周方向列の穿孔（４４）との間に連通路を形成する前記第２の管状部分（３２）の上流側横方向端面に設けられることを特徴とする請求項４に記載の喫煙物品。

【請求項６】

前記流量制限要素（２６'）の前記第２の空洞（４２'）は、前記第２及び第３の管状部分（３２'、３４'）の内側周囲によって少なくとも部分的に形成されることを特徴とする請求項３に記載の喫煙物品。

【請求項７】

１つ又はそれよりも多くの開口部（４６'）が、前記第２の空洞（４２'）と前記少なくとも１つの周方向列の穿孔（４４）との間に連通路を形成する前記第３の管状部分（３４）の円周面に設けられることを特徴とする請求項６に記載の喫煙物品。

【請求項８】

前記フィルタ（１４）は、前記流量制限要素（２６、２６'）の上流に第１のフィルタセグメント（２２）及び該流量制限要素（２６、２６'）の下流に第２のフィルタセグメント（２４）を更に含むことを特徴とする請求項１から請求項７のいずれか１項に記載の喫煙物品（１０）。

【請求項９】

少なくとも約５０パーセント、より好ましくは、少なくとも約６０パーセントの通気レベルを有することを特徴とする請求項１から請求項８のいずれか１項に記載の喫煙物品（１０）。

【請求項１０】

前記横方向障壁（３６、３６'）は、前記フィルタ（１４）を通して前記喫煙材料のロッド（１２）から吸引された主流煙の方向に対して凹面形であることを特徴とする請求項１から請求項１１のいずれか１項に記載の喫煙物品（１０）。

【請求項１１】

１未満又はそれに等しい一酸化炭素対タール比を有することを特徴とする請求項１から請求項１０のいずれか１項に記載の喫煙物品（１０）。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３３】

好ましくは、流量制限要素は、単一の部品であり、より好ましくは、単一の射出成形部品である。

好ましくは、前記流量制限要素は、長さが少なくとも約１０mm、より好ましくは、長さが少なくとも約１３mmである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００６４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００６４】

ある実施例においては、前記包装紙は、３５g/m<sup>2</sup>と６０g/m<sup>2</sup>の間の坪量、重量比

で 20 パーセントと 50 パーセントの間の充填物装荷量、2 C o r e s t a 単位と 18 C o r e s t a 単位の間透過率、及び重量比で 0 . 3 パーセントと 5 パーセントの間の燃焼調節剤を有する。

好ましくは、本発明による喫煙物品は、1 未満又はそれに等しい一酸化炭素対タール比を有する。